

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和5年11月24日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	43週	44週	45週	46週	警報レベル	注意報レベル	基準値
	10月23日～10月29日	10月30日～11月5日	11月6日～11月12日	11月13日～11月19日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ [#]	11	25	19	18	30	10	10
	3.67	8.33	6.33	6.00			
新型コロナウイルス感染症 [#]	5	7	0	3	-	-	-
	1.67	2.33	—	1.00			
RSウイルス感染症	0	0	0	0	-	-	-
咽頭結膜熱	1	0	1	1	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	1	0	1	8	4	-
感染性胃腸炎	4	9	9	11	20	12	-
水痘	0	0	0	0	2	1	1
手足口病	0	0	0	0	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	2	0	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	1	0	-	-	-
	—	—	0.50	—			
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
	—	—	—	—			
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-
	—	—	—	—			

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			

***「1.発生動向」の解釈について**

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 新型コロナウイルス感染症の段階適用状況

国の基準に基づき、在院者数に応じた本県の段階(Ⅰ～Ⅲ)を定め、段階に応じて即応病床数を設定しています。

	段階	適用期間	県の在院者数
今週	0	11/22～11/28	73人
前週	0	11/15～11/21	77人

※県の在院者数は毎週水曜日時点

4. 栗原支所より

【 定点把握対象疾患 】

- ・ インフルエンザは前週より減少しています。
- ・ 新型コロナウイルス感染症は前週より増加しています。
- ・ 感染性胃腸炎は前週より増加しています。

【 集団発生情報 】

新たな集団発生の報告はありません。

【 感染症コラム～感染性胃腸炎(ノロウイルス)～】

- ・ 冬季の胃腸炎や食中毒の原因病原体です。
- ・ 1～2日の潜伏期を経て発症し、主症状は嘔吐、下痢です。
- ・ 感染経路は経口・飛沫感染で、便や嘔吐物及びこれらに汚染された物品類、食中毒としての食品類(汚染された二枚貝の生食、加熱不十分な調理をした食物の摂取)から感染します。
- ・ 二枚貝は体内にノロウイルスを蓄積する性質を持っています。「生食用」以外の食材を食べる場合は、しっかりと内部まで火が通るように加熱することが重要です。
- ・ 次亜塩素酸ナトリウム(用途別に適切な濃度で使用)等の塩素系の消毒剤や家庭用漂白剤でなければ効果的に消毒できません。または85℃以上で1分以上の加熱処理が望ましいです。
- ・ ノロウイルスは乾燥すると簡単に空中に漂い、これが口に入って感染することがあるため、嘔吐物や便が乾燥しない内に処理することや十分な換気、手洗いを心掛けましょう。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7595
HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>